

日本理学療法士会・半田一登会長 来県 価値ある未来のために一致団結を！

去る6月10日、郡山市NABEホールで日本理学療法士協会 半田一登会長をお迎えし、福島県理学療法士会と福島県理学療法士連盟の共催で、約1時間の講演が行われました。テーマは「理学療法士の今後の展望」。主な内容は、「①診療報酬改定のたび厚生労働省との折衝では、以前に比較すると話を聞いてもらえるようになったが、なかなか有利に進められない事。②理学療法士関連の報酬が徐々に下降しており、失職する理学療法士も出ている事。③リンパ浮腫複合的治療料での他職域との凌ぎ合い。④ADL維持向上等体制加算の取得意義」について中心にお話し頂きました。半田会長は「協会として理学療法士の10年後20年後の身分を守るため、持つべきものは政治力と言っても過言ではない。主導的立場の集団と対等に戦うためには前回参議院選挙で組織内代表の獲得票数(75,000票)の倍を目指したい。仮に15万票の得票が出来たら理学療法士協会に対する厚労省の姿勢が変わってくるだろう」と期待を込めた笑顔で話されていました。価値ある未来のために、一致団結して未来を創っていきましょう！

政治参加検討委員会 阿部雄彦



自分の意見でより良い日本へ！

あなたのその一票が日本の未来を決めます！

参議院比例代表には必ず候補者の氏名を書きましょう。

参議院比例代表選挙の候補者は、全国の有権者(支援者)からの得票数によって当選が決まります。

特定の候補者を当選させたい場合、その候補者の氏名を投票用紙に書くことが大切です。
なお、政党名投票も可能です。



当選順位は個人が獲得した票数で決まる。だから、必ず名前を記載しましょう。